

「俺のフレンチ」の俺の、11年ぶり新業態 恵比寿に炉端焼き新店

2025/05/28 16:29 日本経済新聞電子版 469文字

「俺のフレンチ」などを運営する俺の（東京・中央）は28日、恵比寿に炉端焼きの新店を開業すると発表した。目の前で魚や肉を炭火で焼き上げるライブ感が特徴で、新しい業態の店舗を出店するのは11年ぶり。30～40代の女性や訪日客（インバウンド）の需要を取り込む。年間の売上高は約1億5000万円を目指す。

「俺の炉ばた 恵比寿」（東京・渋谷）を29日に開く。席数は42席で客単価は7000円を想定する。「炉ばた名物大海老原始焼き」（1078円）や「大トロ鰯原始焼き」（1738円）などをそろえた。若者を中心に人気が高まる「炉端焼き」で、同社の既存顧客（50代の女性客）より若い年齢層を取り込む。6月には2号店を新宿に開く。

同社は「俺の」ブランドの飲食店を、東京を中心に67店舗展開している。2月には秋葉原に炭火焼き肉料理の「俺のフレンチ GRILL&WINE」をオープンした。25年10月期の売上高は120億円を見込む。資金調達のため27年には上場を目指している。立石寿雄社長は「新しい業態は11年ぶり。料理姿を目の前で楽しんでもらいたい」と話す。



目の前で炭火の香りが楽しめる（28日、渋谷区）



「俺の炉ばた 恵比寿」（28日、渋谷区）

【関連記事】「俺の」秋葉原に炭火焼きの肉料理店 27年ごろ上場めざす

許諾番号30104127 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報（以下「情報」）の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.